



JTUC-TOKUSHIMA 連合徳島

vol. 339

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35の1
徳島県労働福祉会館内
tel. 088 (655) 4105
fax. 088 (655) 4113
E-mail info@tokushima.jtuc-rengo.jp
http://tokushima.jtuc-rengo.jp/

発行：日本労働組合総連合会徳島県連合会

編集責任者 川口 誠二



当面の日程

- 3月7日 クラシノソコアゲ駅前街宣
- 3月8日 3.8国際女性デー第29回徳島県集会
- 3月22日 3地協合同防災植樹
- 3月22日 連合徳島親子スプリングキャンプ
- 4月7日 2025中小春闘勝利・未解決組合支援4.7徳島総決起集会

2025年1月7日徳島グランヴィリオホテルにおいて「2025年連合徳島新年旗開き」を開催した。

開会にあたり連合徳島島会長は、「まずは2025春季生活闘争での物価上昇を上回る賃上げの継続です。本日ご参加いただきました各経済団体の代表者の皆様には、労使が協力してともに働く職場を守っていくためにも、労働条件向上が不可欠であることについて、ぜひご理解をいただきたいと思ひます。

また、政治活動では、昨年の第50回衆議院議員選挙において、立憲民主党公認で高橋えい衆議院議員が誕生し、立憲民主党および国民民主党の躍進等により、与党が過半数割れとなりました。連合徳島は、2025年7月施行予定の参議院議員選挙において、選挙区選挙での広田一さんの再選をはじめ、各産別

代表の比例候補全員の勝利を目指して全力で活動を進めていきます。

結びに、連合徳島として今年1年も、構成組織・組合員、そして、すべての働く仲間とともに、「はたらくのそばで」とも歩む「連合徳島」となるよう努めていくとあいさつした。

続いて、志田敏郎徳島県副知事、竹中郁子徳島労働局長、高橋永衆議院議員、広田一参議院議員、瀬尾守徳島市第二副市长、中山俊雄小松島市長、高井美穂三好市長、木内崇徳島商工会議所副会頭、森本佳広労働者福祉協議会会長、連合徳島推薦議員ネットワークよりあいさつを頂いた。

中川会長代行の発声による乾杯でスタートした交流では、構成組織間はもとより経済団体・福祉団体も含め、貴重な情報交換の場となった。

交流会中盤では、参議院議員選挙比例候補者の紹介・アピールタイムを設け、9産別より候補者の実績や当選に向けた決意が述べられ、推薦候補者全員の当選に向けて会場全体で決意を新たにできた。

閉会は、田村副会長の一丁締めで2025年連合徳島旗開きを締めくくった。



挨拶をする島会長

2025年 連合徳島新年旗開き

第34回定期総会・一泊研修会

徳島県中小労働対策本部

2025年2月15日～16日

2025年2月15日～16日の2日間、鳴門市内のエクスピアで連合徳島加盟の中小労組等から62人が参加し、「徳島県中小労働対策本部第34回定期総会・一泊研修会」が開催された。

原副議長の開会挨拶のあと、議長に松本幹事が選出された。主催者代表の挨拶では、鹿草本部長から、「2024春闘は、2023春闘を超える高水準で賃上げが行われた。しかしながら、物価高が続いたことにより、実質賃金はマナスに近い状態が続いているのが実態である。昨年の徳島県における春闘最終回答を振り返ると、規模別でも、すべての集計で額・率ともに対前年プ

ラシノソコアゲ駅前街宣、3.8国際女性デー第29回徳島県集会、3地協合同防災植樹、連合徳島親子スプリングキャンプ、2025中小春闘勝利・未解決組合支援4.7徳島総決起集会



一丁締めで締めくくると田村副会長



挨拶する鹿草新議長

2024年度活動経過報告並びに会計決算報告を

2024年度活動経過報告並びに会計決算報告を

2024年度活動経過報告並びに会計決算報告を



講演をする酒井次長



講演をする岡崎課長

マに講演された。

2日目は、清田副議長が司会進行を務め、6つのグループ分け、討論・発表を行った。「2025春季生活闘争に関する各単組の取り組み」を主題とし、グループ討論のテーマは①春闘の取り組みについて②賃金および付帯要求について③価格転嫁について④人員確保と育成について⑤高年齢者雇用について⑥ハラメント防止の取り組みについて行われた。大いに盛り上がり、各単組の抱える課題に活発に交わされた。

「時短勤務は3歳まで給料カットなしの現行制度について、今春闘では小学校までに延長要求」など単組の取組が紹介された。一方、人材確保と育成に関して、「待遇や労働環境が厳しい運輸業には、若年就業者の割合が低いことを背景に、中長期的にトラックドライバーの人材不足が懸念され、人材確保・育成が差し迫った課題となっている」、「若者は一人前になったら仕事が増える理由で、会社を辞めてしまい、ベテランの再雇用者が現場を支えている。今年の4月から高齢年齢雇用継続給付の支給率が見直され、最大支給率が15%から10%に引き下げられる。再雇用者の賃金確保に交渉するとともに、支給率の維持改善を上部組織に声を上げている」。また、価格転嫁について「運送業では送料が上がっても、給料に反映されない。製造業では転嫁要求したいが、あ

その後、全国一般・交通労連・JAM・私鉄総連・UAゼンセン・農協労連からの決意表明が行われ、鹿草議長の「6産別の代表者の熱い決意表明を受け、本格的な春闘が始まっている」と改めて身の引き締まる思いである。本日発表いただいた各単組の取り組みにおいては是非皆様も春闘の交渉材料としてご活用いただきたい。私も労働組合代表として組合員がこの会社に勤めて良かったと、幸せを感じられるよう春闘を全力で闘っていくをまじめ、清田副議長の閉会挨拶で一泊研修会を終えた。

その後、全国一般・交通労連・JAM・私鉄総連・UAゼンセン・農協労連からの決意表明が行われ、鹿草議長の「6産別の代表者の熱い決意表明を受け、本格的な春闘が始まっている」と改めて身の引き締まる思いである。本日発表いただいた各単組の取り組みにおいては是非皆様も春闘の交渉材料としてご活用いただきたい。私も労働組合代表として組合員がこの会社に勤めて良かったと、幸せを感じられるよう春闘を全力で闘っていくをまじめ、清田副議長の閉会挨拶で一泊研修会を終えた。



グループ討論の様子



2025春季生活闘争開始宣言 連合徳島集会・連合白書学習会を、ふれあい健康館において84人が参加し開催した。

開会にあたり島共闘会議議長より「昨年の2024年春季生活闘争を振り返り概要を申し上げると、全体で5%を超える賃上げを実現した一方で、中小の賃上げは3%台であり、残念ながら、企業規模間の格差は広がりました。さらに、地域間格差も広がっていると思われまます。全ての働く仲間にとって、賃上げが当たり前の社会としていくためには、まずは、「価格転嫁は当たり前」としていくことが大前提であることは言うまでもありません。企業間の適正取引や労務費の価格転嫁を確実に行うことから、未組織で働



開会挨拶をする島議長



意思統一をはかる参加者

くすべての働く仲間にも物価上昇を上回る賃上げが実現していかねなければなりません。『未来づくり春闘』のもと、賃上げの流れを巡る軌道に乗せていくために共に頑張りましょう」とあいさつした。

続いて川口共闘会議事務局長から2025春季生活闘争方針提起、民間大手部会鴻池部会事務局長、民間中小部会鹿草中小労働対策本部長、官公労部会中川公務労協議長、地域部会宮本中央地協議長から決意表明の後、田村副会長より2025春季生活闘争開始宣言(案)を読み上げ、会場全体の拍手で承認された。

その後、連合本部総合政策推進局、労働条件・中小地域対策局日登大地部長を講師に「連合白書学習会」を開催し、未来づくり春闘の意義や基本スタンス、賃上げ目標・根拠・環境整備等説明を受け認識を合わせた。最後に、中川副会長の閉会あいさつに続いて、島共闘会議議長の先唱でガンパローを三唱し集会を終了した。

2025春季生活闘争

米・野菜をはじめとする生鮮食料品価格が高騰している状況下において、物価高に負けない賃上げが必要である。

2025春季生活闘争はいよいよヤマ場を迎える。連合は定期昇給分を含め5%以上の賃上げを求め、中小においては大手との格差是正のため6%・18,000円相当の賃上げを求めている。賃金も物価も上がらないのがあたりまえという社会的規範を変え、手取りを増やすことで個人消費を拡大し、賃金も物価も上昇する好循環を実現したいと考える。

『みんなで作ろう賃上げがあたりまえの社会!』に向けて、最後まで闘い抜こう」とあいさつした。

2025春季生活闘争勝利・連合全国一斉アクション徳島県総決起集会在2月27日、徳島グランヴィリオホテルにおいて161人が参加し開催した。

開会にあたり島共闘会議議長は、「本日全国で一斉に2025春季生活闘争の取り組みが展開され、四国内においても集会や街宣行動が展開されている。」



春闘勝利に向け意思統一をはかる

続いて、連合徳島推薦議員ネットワークから庄野真議、仁木真議、長池真議、東条真議、竹内真議、武知徳島市議、加村徳島市議、春田徳島市議、橋本阿南市議、高橋三好市議が激励に駆け付け、代表し庄野真議より連帯のあいさつをいただいた。

川口共闘会議事務局長から2025春季生活闘争方針と課題と提起に続き、民間大手部会岡部会長、民間中小部会鹿草中小労働対策本部長、官公労部会吉野公務労協議事務局長、中央地協議本部長、西部地協議本部長、南部地協議佐議長から2025春季生活闘争に向けての決意表明がされた。

2025春季生活闘争勝利・連合全国一斉アクション徳島県総決起集会アピール(案)を連合徳島青年委員会藤井委員長より読み上げ、会場全体の拍手で承認された後に、連合徳島中川会長代行の閉会あいさつに続いて、島共闘会議議長の先唱でガンパローを三唱し集会を終了した。

2025春季生活闘争ここから正念場

野菜、お米の値段が高騰しており、皆さんの食生活にも影響が出ているのではないのでしょうか？

この物価高に負けない、賃金上昇が必要です！

「賃金も物価も上がらないのがあたり前」という社会的規範(ノルム)を変え、手取りを増やすことで個人消費を拡大し、賃金と物価の好循環を実現しましょう！

!!! みんなで作ろう! 賃上げがあたりまえの社会